



5

舎の階段脇や教室の壁には、生徒が取り組んだワークシートを随時掲示し、付箋を用意して、生徒が互いに自由に感想を書けるようにした。

2年目となる本年度は、生徒主体の活動を目指している。今後は生徒たちの意見を校内サーバーを通して発信し、各自がタブレットで閲覧、意見交換できる場を設け、活動を広げたい。新聞を活用する中で、異なった互いの意見を認め合い、メディアリテラ

シーを養い、共に学び合う集団をつくりたい。
(仙台城南高校教諭 鈴木理恵)

◇ 宮城県内のNIE実践指定校11校の担当教員が、活動や成果を報告します。次回は10月第1週に掲載します。

意見を交換学び合う

本校は2016年度から2年間、NIE実践指定校に認定された。新聞記事を生きた教材として活用し、生徒が自分の考えを自分の言葉で豊かに表現する力を身に付けさせることを目標に、活動を始めた。本校はICT(情報通信技術)教育にも力を入れており、タブレット端末を使ったNIE活動も行っている。

16年度は、新聞に親しむ環境づくりから始めた。校舎3階の職員室前に「新聞コーナー」を設け、日々届けられる新聞を自由に閲覧できるようにした。校舎1階の職員室前に「NIEコーナー」を設置し、生徒が取り組んだワークシートを掲示した。また、校

意した記事を生徒が読み、その記事に対して各自の意見を考えをシェアしながら解決策をまとめ、プレゼンテーションをする授業を行った。生徒は、河北新報データベースを利用し、自分の生まれた年までさかのぼって検索したり、海外の様子を比較の材料として検討したりするなど、楽しんで新聞記事に触れていた。

活動を始めた4月当初は、生徒たちの大半が制限時間内に自分の意見をまとめるのができなかったが、半年後にはほとんどの生徒がそれができるまでに成長した。

仙台城南高

一法人に東北工業大がある。〒982-0836仙台市太白区八木山松波町5の1。022(305)2111。

メモ 生徒数1184人。中川西剛校長。1961年創立。電子高、工大高を経て2013年4月、仙台城南高に校名を変更した。同



ワークシートの掲示と付箋による意見の書き込み